

## 平成 24 年度第 10 回（1 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 25 年 1 月 10 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、清水、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 井戸田、山中監事
- ◇ 議 長： 運天

### 【 討議内容 】

#### I. 行動報告（12 月分）

別紙参照

#### II. 経過報告

##### 1. 日臨技・近臨技

- ・ 日臨技会員は地臨技会員とする定款については、再検討する。
- ・ 関西支部を近畿支部へと改称することについては、再検討する。
- ・ 全国幹事会を 1 月 26 日に開催する。
- ・ 共催、協賛、後援も関する内規を検討中
- ・ 利益相反委員会を設置し、厚生労働科学研究費補助金を申請した。
- ・ 医療安全対策委員会を常設する。
- ・ 大阪府・兵庫県、京都府、石川県会費の自動引き落としを承認した。
- ・ 認定制度の見直しについて検討する。

##### 2. 事務局

〈総務部〉12 月 19 日（水）に部会を開催した。

- ・ 平成 25 年度からの会費納入方法変更に伴う対応について検討した。
- ・ 平成 24 年度第 2 回定期総会について検討した。
- ・ 平成 25 年度大臨技会員証の作成について検討した。
- ・ 教育施設への入会案内について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 12 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉12 月 19 日（水）に部会を開催した。

- ・ 11 月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員 12 月分給与および賞与を送金した。

〈渉外部〉12 月 18 日（火）に部会を開催した。

- ・ 大臨技・大放技合同フォーラム（1 月 19 日開催）の進捗状況について説明を行った。
- ・ 日臨技公益委託事業（HIV 対策）（1 月 16 日 17：30～19：30 近畿医療にて開催予定）案について説明を行った。
- ・ 手話講演会（2 月 2 日 15：00～16：45 近畿医療にて開催予定）の進捗状況について説明を行った。

- ・ 献血推進活動（日程調整中）の進捗状況について説明を行った。
- ・ 平成 25 年度事業計画について討議を行った。

### 3. 事業局

〈情報組織部〉 12 月 15 日（木）に部会を開催した。

- ・ 第 29 回技師長会（平成 25 年 2 月 23 日開催予定）の演題名について確認した。
- ・ 平成 25 年度事業内容について議論した。

〈地区事業部〉 12 月 20 日（木）に部会を開催した。

- ・ 施設連絡者会におけるアンケート様式および講師依頼について検討した。  
開催日：平成 25 年 3 月 16 日（土）、場所：大阪産業創造館 6 階会議室  
テーマ：当直・夜間帯における検査対応について

〈学部部〉 12 月 11 日

- ・ 第 8 回学部部講演会の内容を検討した。
- ・ 平成 25 年度の事業計画および予算書について検討した。

## III 他、報告

1. 小島三郎記念技術賞および福見秀雄賞候補者について（吉本副会長）  
候補者なし。
2. 日臨技理事会報告について(運天会長)  
各部報告 1 を参照
3. 医療関連サービス振興会調査指導員について（運天会長）  
医療関連サービス振興会調査指導員として、荒木常務理事と田畑常務理事を日臨技に推薦した。
4. 第 20 回日本健康体力栄養学会の後援申請について（竹浦副会長）
  - ・ 日時：平成 25 年 3 月 16 日(土)10：00～18：30
  - 会場：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館
  - 理事会承認とした。
5. その他
  - ・ 1 月 25 日(金)に日臨技連盟責任者会議が開催されるので、要望等があれば竹浦副会長にメール送信するよう伝えた。
  - ・ 広報より大臨技主催の講演会等の参加費の再設定について、原稿表現である記載方法の認識確認をした。

## IV. 議 題

1. 平成 24 年度第 2 回定期総会について（吉本副会長）
  - ・ 日時：平成 25 年 3 月 28 日（木）19：00～20：30
  - ・ 会場：大臨技事務所
  - ・ 役員は、18：30 までに会場に集合する。
  - ・ 受付は、総務部より岡本美由紀氏（新生病院）、上遠野明氏（南大阪病院）に依頼した。
  - ・ 感謝状表彰の候補者に関しては、本日の理事会終了後、後審査委員会で決定する。
  - ・ 永年会員表彰の対象者 75 名の中から代表者を抜粋し、対象者 75 名に総会出席依頼を郵送する。
  - ・ 第 1 議長に地区事業部より松倉嘉士氏（大阪血清微生物研究所）、第 2 議長に渉外部より夏秋知佳氏（自宅会員）を選出した。
  - ・ 資格審査委員兼議事運営委員に荒木常務理事（委員長）、田畑常務理事  
会員 3 名から渉外部北川富貴子氏（浅香山病院）他 2 名を選出する。

- ・ 書記は大臨技事務局の岩崎和子、出口由紀子が担当する。
  - ・ 議事録署名人に渉外部より川井和久氏(茨木保健所)、北川篤氏(多根総合病院)を選出した。(印鑑証明書の提出依頼をした)
  - ・ 会員への広報は平成 24 年度第 2 回定期総会の開催案内、委任状、施設連絡者に委任状の取扱書、返信用封筒を大臨技ニュース 2 月号に同封する。
  - ・ 委任状は 3 月 7 日必着とする。
  - ・ 総会出席において、役員は大臨技のバッジをつけること。
2. 平成 25 年度大臨技会員証および大臨技ニュースについて (荒木常務理事)
- ・ 現印刷会社の変更に伴い、新印刷会社到大臨技ニュース 2 月号の試作を依頼確認中。
3. その他
- ・ 公益法人移行後に大臨技規程および委員会の見直しをする。
  - ・ 近臨技と関西支部と統一するためのルール整備をする。
  - ・ 荒木会計部長より大臨技・平成 25 年度予算案の説明があった。  
日臨技補助金収入の減により支出 1・2 の削減を資料に基づいて伝えた。
  - ・ 日臨技幹事の清水理事より支部への予算要望を伝えた。
    - ① 会員割による地臨技への負担金の拠出
    - ② 支部学会の会員 1 人あたりの日臨技負担金の増額 (500 円から 1000 円に)
    - ③ 支部活動費の増額
    - ④ 日臨技公益事業の継続
    - ⑤ 事務手続きの簡素化等
  - ・ 大臨技会員のみ会費納入変更等が、新たな懸念とされる危惧に総務部会で検討することとした。